

9月13日

2021年
(令和3年)

月 曜 日

鉄鋼新聞

Japan Metal Daily

カーボンニュートラル都市ガス導入

25年までにCO₂3000トンを削減へ

三芳合金工業

銅合金の鍛造・鋳造品などを手掛ける三芳合金工業（本社・埼玉県三芳町、社長・萩野源次郎氏）は、今月から、本社工場にカーボンニュートラル都市ガスを導入した。同社では低炭素化推進を企業として取り組むべき社会的課題の一つとして位置付けており、熱処理炉や鍛造用加熱炉などの燃料として使用している都市ガスの一部をカーボンニュートラル都市ガスに切り替えた。年間約694トンのCO₂削減に貢献。20

25年11月末までの4年3カ月間の契約期間累計では、約2949トンとなる見通しだ。導入するカーボンニュートラル都市ガスは天然ガス採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、CO₂クレジットで相殺したもの。燃焼しても地球規模ではCO₂が発生しないと見なす都市ガスとなっ

ている。同社では大東ガス（本社・同県同町、社長・清水宏之介氏）から供給を受けている。三芳合金工業では本社工場で使用する都市ガスの約5分の1程度をカーボンニュートラル都市ガスに切り替えている。企業の社会的責任として低炭素化に取り組むことに加え、製品サプライチェーン全体で温室効果ガ

スを削減する流れを、素材メーカーとして先取りする狙いもある。同社では環境負荷低減に力を入れており、カーボンニュートラル都市ガス導入以外にも様々な活動を実施。今年に入ってCO₂フリー電力を導入しているほか、今後は設備の運用改善や改造などで、これまで以上に省エネを進めていく考えだ。